

平成29年11月29日

平成29年冬のボーナス予想について

～冬のボーナスは6年連続で前年比増加～

佐賀銀行（頭取 陣内 芳博）は、佐賀県内における今年の冬のボーナス支給額について、下記のとおり推計いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 推計結果の特徴

- (1) 官公庁のボーナス総支給額は前年比1.79%増になると推計いたしました。
- (2) 民間のボーナス総支給額については、前年比0.51%増になると推計いたしました。
- (3) この結果、官民合計のボーナス総支給額については、前年比0.80%の増加になるものと推計いたしました。

支給総額

	平成29年冬		平成28年冬	
		前年比		前年比
官公庁	171億	1.79%	168億	0.60%
民間	586億	0.51%	583億	0.52%
合計	757億	0.80%	751億	0.54%

※表中の数字は単位未満を切捨てて表示しています。

※民間の事業所については、従業員数5人以上について推計しています。

2. 推計の根拠

(1) 官公庁について

今冬の期末・勤勉手当（ボーナス）の支給月数は、国家公務員および、佐賀県職員と佐賀県内市町公務員において2.325ヵ月分（昨年冬季比0.05ヵ月増）と想定し算出いたしました。

支給対象職員数は若干減少していますが、昨年の人事院勧告等で、月例給与の増額や支給倍率が引き上げられたことにより、冬季のボーナス総支給額を前年比約2.6億円増（対象人員の減少による要因△0.3億円、支給額の増加による要因2.9億円）の171億円と推計いたしました。

(2) 民間について

県内の景気は穏やかに持ち直しており、ボーナス支給人員は、定年退職等の退職者数を上回ったパートタイム社員の正社員化などにより、昨年冬季比では増加していると想定されます。一方、所定内給与の平均は、パートタイム社員の正社員化などにより、前年を下回っていることが想定されます。

今後の景気の先行きについては、県内企業の一部に慎重な姿勢がみられるものの、雇用環境の改善が続くなかで、人手不足に対する待遇改善の動きも見られることから、県内企業の支給倍率は、0.02ヵ月増の1.20ヵ月と想定いたしました。

その結果、一人当たりの所定内給与は減少したものの、支給対象人員の増加、一人当たりの賞与の平均支給額の増額により、支給総額は前年比約3.1億円増（対象人員の増加による要因2.8億円、一人当たりの所定内給与の減少による要因△9.5億円、支給倍率の増加による要因9.8億円）の586億円と推計いたしました。

以上

本件に関するお問合せ先

総合企画部（松尾）
TEL 0952(25)4553

このまちで、あなたと



佐賀銀行